

みずほCustomer Desk Report 2020/01/27号(As of 2020/01/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.59
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	109.57	1.1055	121.09	1.3118	0.6848
SYD-NY High	109.65	1.1062	121.27	1.3180	0.6857
SYD-NY Low	109.18	1.1019	120.41	1.3057	0.6818
NY 5:00 PM	109.27	1.1025	120.49	1.3070	0.6825
NY DOW	28,989.73	▲ 170.36	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	9,314.91	▲ 87.57	日本10年債	-0.030	▲ 1.00bp
S&P	3,295.47	▲ 30.07	米国2年債	1.4937	▲ 1.91bp
日経平均	23,827.18	31.74	米国5年債	1.5080	▲ 3.49bp
TOPIX	1730.44	▲ 0.06	米国10年債	1.6848	▲ 4.51bp
シカゴ日経先物	23,655.00	▲ 155.00	独10年債	-0.3380	▲ 3.05bp
ロンドンFT	7,585.98	78.31	英10年債	0.5610	▲ 2.90bp
DAX	13,576.68	188.26	豪10年債	1.0720	▲ 4.25bp
ハンセン指数	27,949.64	40.52	USDJPY 1M Vol	5.03	0.18%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.26	0.09%
NY金	1,571.90	6.50	USDJPY 6M Vol	5.51	0.01%
WTI	54.19	▲ 1.40	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	175.75	▲ 2.77	EURJPY 3M Vol	5.74	0.04%
ドルインデックス	97.85	0.16	EURJPY 6M Vol	6.10	0.18%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月24日	08:30	日 全国コアCPI	12月 0.7%	0.7%
	18:30	英 マークイットサービス業PMI・速報	1月 52.9	51.1
	19:30	黒田日銀総裁 ダボス講演	「インフレ目標程遠い」緩和策当面継続	
	23:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	1月 53.2	53

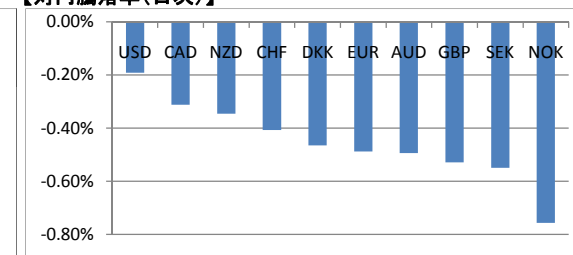
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月28日	00:00	米 新築住宅販売件数	12月 730k	719k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新型コロナウイルスの影響は

市場は注目の政治イベントを通過して次の材料待ちとなっていたが、足元は新型コロナウイルスへの警戒感からややリスクオフ的な値動きになっている。中国武漢で野生動物(ヘビとの噂)を感染源として発生したこのウイルスは、執筆時点では感染者数が全世界で2000人を超えたものの致死率3.1%と、2002年に主に中国華南地区で流行したSARS(同9.6%)や2012年にロンドンで流行したMARS(同34.4%)に比べて低く、WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に現時点では該当しないとの判断をした。このヘッドラインは投資家のセンチメントを冷やす点ではリスクオフ材料だが、「市場流動性の低下」「実体経済の悪化」に繋がるイベントとならなければ、長期的なリスクオフ局面に繋がらないだろう。1つ目の市場流動性の低下は、特定の市場(例えば中国の株式市場)において新型コロナウイルスの影響により市場参加者が急減して現実のものとなる可能性はあるが、それがグローバルな規模で起きるとは考えにくく、仮に生じたとしても短期的なリスクオフトレードに留まるだろう。2つ目の実体経済への影響だが、2017年のローレンス・サマーズ氏ら経済学者3名の論文によれば、パンデミック・リスクから予想される年間損失額は5000億ドル規模(世界の総所得の0.6%相当)と推計されている。この規模となれば世界経済を減速させると考えられるが、米中貿易戦争の関税賦課のようにサプライチェーンや設備投資計画の変更を迫るものではなく、その影響も比較的短期のものと予想されよう。2002年11月のSARS(2003年7月に終息宣言)の経済的損失は400億ドルと言われているが、当時は日本の不良債権処理進捗やITバブル崩壊後のFRB緊急利下げなどを好感、この期間のドル円は115-120円のレンジ推移で特段方向感はない。やはりパンデミック・リスクが即座に市場を動かすことはないと考えていいだろう。短期的に下げたドル円は、春節後にかけて値を戻す可能性は十分あると考える。(岡本)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷浦
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
13	7

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682